

イエスへの祈り

キリスト教における主な祈りの一つに「イエスへの祈り」(Jesus Prayer)があります。それは、「主イエス・キリスト、神の子よ、罪人の私を憐れんでください」という短い祈りです。

これは、「主の祈り」(Lord's Prayer)や「アヴェ・マリアの祈り」(Hail Mary)と並んでよく知られ、用いられている祈りです(日本ではあまり知られていませんが)。主として東方正教の修道院において伝えられてきたものですが、ローマ・カトリックにおける射祷(短い祈り)にも採り入れられています。

この祈りは、いつでも、どこでも、誰でも祈ってよい、また、祈るべきものです。クリスチャンであろうがなかろうが関係ありません。いつでも、どこでもこの祈りを祈ってみてください。とりわけ、不安なとき、苦しいとき、悲しいとき、いつまでもその思いにとらわれないように、この祈りを心の中で繰り返してください。それは、「絶えず祈りなさい」(テサロニケの信徒への手紙一 5:17)という聖書の教えにもかようなことです。

ただ、この祈りは、目先の願いのための呪文などとは異なる、「観想」(contemplation)の祈りです。すなわち、今を生き、神に近づくための静寂における祈りです。この深い意味における祈りについては、古くから実践と教えが積み重ねられ、『フィロカルIA』などの著作にまとめられています。近年は、いわゆるマインドフルネスとの関連でも新たに注目を集めています。

いずれにせよ、この祈りを通して私たちは、「祈る人」(homo orans)へと少しずつ変えられていきます。この「祈る人」ということこそが、「知恵ある人」(homo sapiens)と並ぶ、いやそれ以上に根源的な人間のありようなのです。

この、古くて新しい祈りの実践に興味がある方は、主教カリストス・ウェア『イエスへの祈り』(新教出版社)、マーティン・レアー『静寂の地へ』(教文館)などをぜひご参照ください。

(人文学部チャプレン 柳田 洋夫)

2025 年度年間聖句

あなたの重荷を主にゆだねよ 主はあなたを支えてくださる。

(詩編 55 編 23 節)

全学礼拝期間について

2025 年度秋学期の全学礼拝は、下記の日程でチャペルにて行っています。

毎週火曜日から金曜日、14 時 40 分から 15 時 10 分です。どなたでも自由にご参加ください。

秋学期／9 月 30 日(火)～2026 年 1 月 16 日(金) ＊行事により変更あり

※詳しい情報はキリスト教センターホームページをご確認ください。→



聖学院教会の礼拝・祈祷会のご案内

毎週日曜日 10 時 30 分から日本キリスト教団聖学院教会の礼拝が行われています。

毎週木曜日 18 時 40 分から緑聖ホールC室にて祈祷会を行っています。

どなたでも自由にご参加ください。

主の祈り

天にましますわれらの父よ
 ねがわくはみ名をあがめさせたまえ
 み国をきたらせたまえ
 みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ
 我らの日用の糧を今日も与えたまえ
 我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
 我らの罪をもゆるしたまえ
 我らをこころみにあわせず
 悪より救い出したまえ
 国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり アーメン



チャペルでの全学礼拝時には以下について ご協力をお願いいたします

＊携帯電話はマナーモードに設定して、しまってください。

＊礼拝中の私語はやめましょう。

＊チャペル内にはお手洗いがありませんので、チャペルに入る前にエルピス館のお手洗いをご利用ください。

◆ 怪しい勧誘に注意 !! ◆

正体を隠して、学生を狙うカルト集団や

悪徳商法の勧誘が広がっています。

学生の皆さんは十分気を付けてください。

11月11日(火)

— 召天者記念礼拝 —

司会・奨励 菊地 順
(聖学院院長・キリスト教センター所長)
奏 楽 村上 野花



前 奏
讃美歌 66 番 1、2 節
聖 書 マタイによる福音書
22 章 34～40 節
(新約 P.44)

祈 祷
奨 励 「神を仰ぎ 人に仕う
— 平井庸吉を覚えて」

祈 祷
讃美歌 66 番 3、4 節
主の祈り
後 奏

11月12日(水)

奨 励 ロバート ローランド
(欧米文化学科准教授)

司 会 木村 太郎
奏 楽 相川 徳孝



前 奏
讃美歌 301 番 1、2 節
聖 書 コヘレトの言葉
3 章 1 節 (旧約 P.1036)

祈 祷
奨 励 「立ち止まる勇氣」

祈 祷
讃美歌 301 番 3、4 節
主の祈り
後 奏

11月13日(木)

奨 励 小林 信人
(日本キリスト教団高輪教会牧師)

司 会 木村 太郎
奏 楽 ングワー路津子



前 奏
讃美歌 79 番 1、2 節
聖 書 創世記
1 章 26～31 節
(旧約 P.2)

祈 祷
奨 励 「極めて良いもの」

祈 祷
讃美歌 79 番 3 節
主の祈り
後 奏

11月14日(金)

奨 励 鄭 鎬碩
(政治経済学科長)

司 会 柳田 洋夫
奏 楽 山田 志帆



前 奏
讃美歌 二編 203 番
聖 書 ヘブライ人への手紙
12 章 1～2 節
(新約 P.416)

祈 祷
奨 励 「平和を目ざす走者」

祈 祷
讃美歌 二編 203 番
主の祈り
後 奏

11月18日(火)

奨 励 内田幸四郎
(東京神学大学神学生)

司 会 菊地 順
奏 楽 渡辺 善忠



前 奏
讃美歌 461 番 1、2 節
聖 書 ヨハネの手紙一
3 章 11～18 節
(新約 P.444)

祈 祷
奨 励 「どうやって愛するのか？」

祈 祷
讃美歌 461 番 3、4 節
主の祈り
後 奏

11月19日(水)

全学礼拝はありません

～クリスマスツリー点火祭～

メッセージ
木村 太郎チャプレン
「神は共にいてくださる」

ルカによる福音書
2 章 1～7 節

〈時間〉16:40～17:10
〈場所〉チャペル

※当日のこの他の予定は
チラシをご覧ください。

11月20日(木)

奨 励 野村 春文
(子ども教育学科特任講師)

司 会 菊地 順
奏 楽 清水 貴子



前 奏
讃美歌 7 番 1、2 節
聖 書 マタイによる福音書
22 章 15～21 節
(新約 P.43)

祈 祷
奨 励 「神さまから与えられたもの」

祈 祷
讃美歌 7 番 3、4 節
主の祈り
後 奏

11月21日(金)

奨 励 村岡 有香
(欧米文化学科長)

司 会 柳田 洋夫
奏 楽 山田 志帆



前 奏
讃美歌 280 番 1、2 節
聖 書 ローマの信徒への手紙
8 章 28 節 (新約 P.285)

祈 祷
奨 励 「Connect the Dots
— 点と点をつなぐ神の計画」

祈 祷
讃美歌 280 番 3、4 節
主の祈り
後 奏